

東京都奥多摩ビジターセンター外 3 施設 事業計画書

申請年月日

2024 年 9 月 9 日

団 体 名	株式会社 自然教育研究センター	
代表者氏名	代表取締役 税所 功一	
所 在 地	〒190-0022 東京都立川市錦町 2-1-22	
電話番号	042-528-6595	
メールアドレス		
担当者名	所 属 : 総務部	氏 名 :

※この書式のほかに事業計画書の概要版を添付すること（A 4 判 2 枚程度、様式任意）

目次

I 事業方針

1 管理運営に対する基本方針について

- (1) 管理運営に対する基本的考え方と重視する視点 1-2
- (2) 申請者のノウハウを活用した業務展開 3-4

II 事業計画

1 人員配置計画

- (1) 人員配置計画《様式 6 - 1》 5-6
- (2) 適切な管理運営を行うための人材の確保と
職員の技術・能力向上への取組 7

2 運営計画

- (1) ビジターセンターの機能と事業展開 8
- (2) 利用者ニーズの把握への取組 9
- (3) 質の高いサービス提供への取組 10
- (4) 施設の広報に関する取組 11
- (5) 地域連携や地域振興、関連施設との連携への取組 12
- (6) 業務効率化への取組 13
- (7) 運営業務計画書（年間予定）《様式 6 - 2》 14

3 管理計画

- (1) 適切な維持管理を行うための取組 15
- (2) 事故、自然災害等を未然に防ぐための
安全対策及び発生時の対応 16
- (3) 稀少動植物保全への取組 17
- (4) 管理業務計画書（年間予定）《様式 6 - 3》 18

4 自主事業

19

III 支出計画

- 1 支出計画 20
- 2 物販収支計画 20

東京の自然公園マネジメントプランを運用し 自然公園の利用と保全を推進します

弊社は、「東京の自然公園ビジョン（2017年 東京都）」の実現を目指し、同ビジョンを踏まえた「東京の自然公園マネジメントプラン（2022年 株式会社 自然教育研究センター）」を運用しています。

「東京の自然公園マネジメントプラン」は、自然公園施設の管理運営ならびに東京の自然公園に関わる上での指針を示しています。

東京の自然公園において弊社が目指すビジョン

「首都に最も近い所にある、多様性と連続性が織りなす自然と、自然との関りの中で生まれた文化に、全ての人が楽しみ、それらの資源が利用されながらよりよい姿が維持される」

東京の自然公園のエリアマネジメント

弊社は、東京の自然公園4施設（高尾ビジターセンター、御岳ビジターセンター、奥多摩ビジターセンター、山のふるさと村ビジターセンター）をエリアマネジメントしています。

エリアマネジメントでは、これら4施設と連携し、東京の自然公園の施設の魅力発信を強化します（Feel Nature in Tokyo! プロジェクト）。



Pick Up



Feel Nature in Tokyo! プロジェクト

このプロジェクトは、利用者と自然公園、自然公園施設を結び取り組みです。利用者に東京の自然公園の周知をし、そこでの体験を促すことにより、東京の自然公園、自然公園施設に愛着をもつことを目指します。

取組例) SNS の情報発信、出張展示、オリジナル商品の販売等

インタープリテーション全体計画を導入し、5年後、10年後を見据えた奥多摩ビジターセンターの事業を展開します

前述の「東京の自然公園マネジメントプラン」における管理運営に沿い「奥多摩ビジターセンターのインタープリテーション全体計画（運営計画）」を作成し、運用しています。

これまでの指定管理期間（2020年度－2024年度）の実績を土台に、本運営計画に基づき、5年後そして10年後を見据えた効果的且つ効率的な事業を展開します。



奥多摩ビジターセンターが目指すビジョン

「秩父多摩甲斐国立公園である奥多摩地域の魅力に利用者自身が興味を持ち、理解を深めることができる。そのきっかけをつくる関係者が連携し、自然環境やそこに生きる動植物、文化、暮らしが保全され、より良い形で受け継がれていく」



5年後（2029年度）の目標

「秩父多摩甲斐国立公園及び自然公園に携わるキーパーソンと連携して、多様な人々に対する奥多摩の魅力発信を強化します」

「自然公園の価値を高め、保護と利用をしながら地域振興できる奥多摩の情報基地を目指します」

東京の自然公園におけるビジターセンターでの 34 年の 管理運営の実績とノウハウが弊社の強みです

奥多摩ビジターセンターの運営実績

普及啓発

自然教室やプログラムを通じて、環境保全や安全登山など幅広いテーマの体験を提供してきました。



安全登山講座 - 青梅警察署山岳救助隊 連携 -



国立公園ハイキング
- 環境省 連携 -



専門学校の学生向けイ
ンタープリテーション
研修の講師



人材の育成

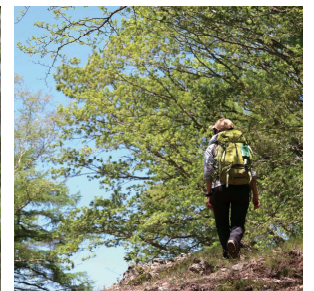
学生や地元のガイド団体など、学びの段階に合わせて、解説や研修を通じて人材を育成してきました。

調査とデータの蓄積

週 1 回の自然調査、登山道の巡視を実施し、2020 年度から 4 年間蓄積した記録を学術研究、環境保全のために提供しました。



氷川溪谷周辺の自然調査は週 1 回実施



奥多摩地域の登山道調査
や希少種調査



地域団体と河川にお
けるマナーアップ
キャンペーン



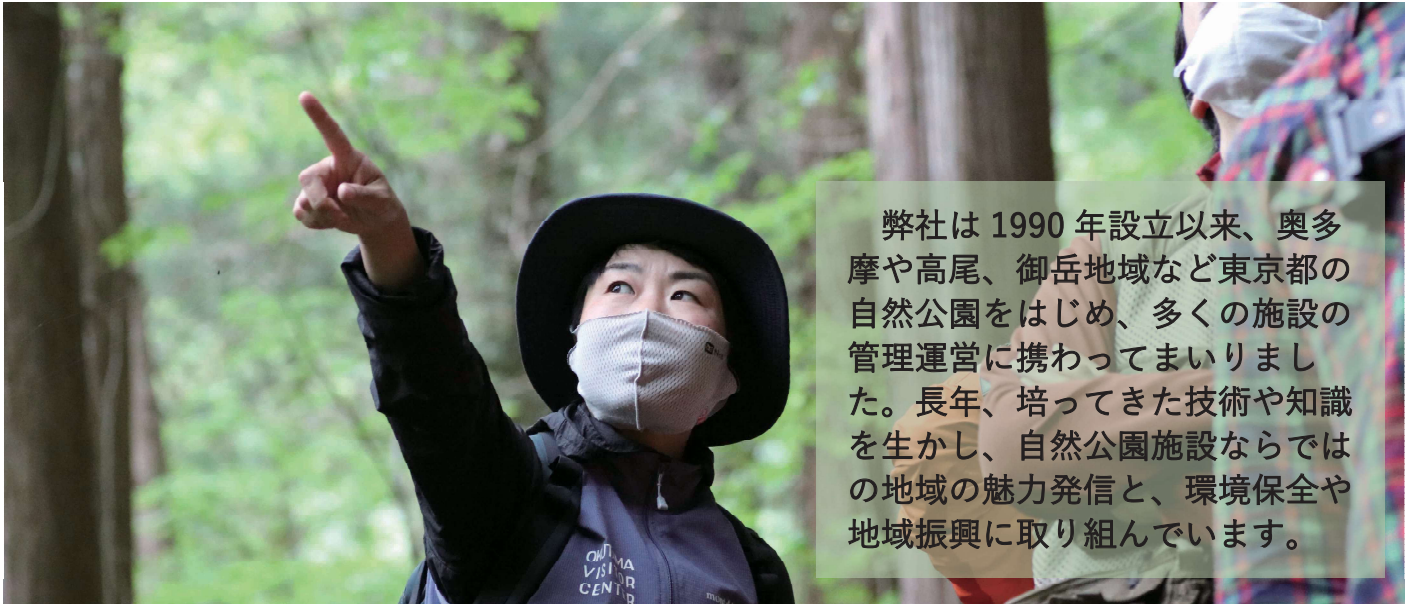
教育や観光団体に向けた地元向け
自然教室の開催

地域とのネットワーク

15 以上の地域団体と連携しマナーアップ、イベントや人材育成などに取り組んできました。また、自然情報メールを通して、地域の自然や登山道情報、利用ルール等を効率的に周知しています。

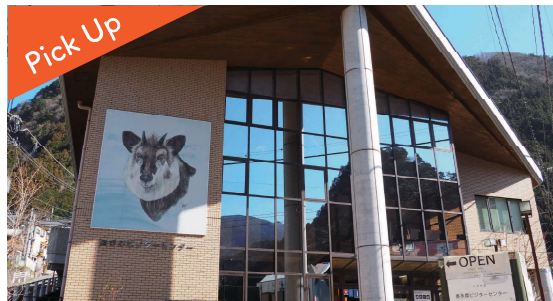
東京の自然公園施設の運営実績

34 年の管理運営の実績を踏まえた業務展開



自然公園の 4 施設の特色や強みを生かして、各施設を運営しています。

前述のエリアマネジメントを通じて、これら 4 施設と連携し、東京の自然公園の施設の魅力発信を強化します。



奥多摩ビジターセンター

実績：2020 年～

秩父多摩甲斐国立公園に含まれる奥多摩地域の魅力や利用ルール及びマナーを地域団体と連携し周知しています。



高尾ビジターセンター

実績：1998 年～

気軽に訪れた利用者に、オートスライドやガイドウォークなど、常時参加できる自然体験を提供しています。



御岳ビジターセンター

実績：1992 年～

武蔵御嶽神社の神主が営む宿坊を活用し、歴史文化と自然をテーマにした宿泊型の体験を提供しています。



山のふるさと村ビジターセンター

実績：1990 年～

キャンプほか宿泊者向けのガイドウォークなど、園内を活用し、人と野生動物の関わりや小河内地区でのかつての生活や文化などをテーマにした自然体験を提供しています。

	役職	担当業務(具体的に)	能力、資格、業務内容等	雇用形態				一週間の勤務時間	備考
				常勤	非常勤	委託	その他(具体的に)		
ビ ジ タ ー セ ン タ ー 人 員 配 置	館長	・統括責任者 ・調整業務など	【能力】 ・全体マネジメント、総合コーディネート、インタープリテーションにまつわる講師 【資格】 ・日本山岳ガイド協会 登山ガイド1ステージⅠ、学芸員、防火管理者	○		-		36	
	副館長	・報告業務 ・評価業務など	【能力】 ・総合コーディネート 【資格】 ・防災士、食品衛生責任者、地域限定旅行業務取扱管理者	○		-		34	
	解説員	・プログラム運営 ・展示作成	【能力】 ・プログラム企画・運営、哺乳類調査 【資格】 ・司書、学芸員	○		-		24	
	解説員	・展示解説、プログラム運営 ・インバウンド向け解説、資料作成	【能力】 ・プログラム企画・運営、昆虫、森林生態調査 【資格】 ・上級救命資格		○	-		13	
	調査員	・自然環境調査業務(モニタリング等) ・公園施設調査業務(避難小屋等)	【能力】 ・野生生物調査、プログラム企画・運営 【資格】 ・東京都鳥獣保護管理推進員、環境省鳥類標識調査員、環境省自然公園指導員		○	-		月に16時間	
	調査員	・自然環境調査業務(モニタリング等) ・公園施設調査業務(避難小屋等)	【能力】 ・野生生物調査、有害鳥獣捕獲 【資格】 ・生物分類技能検定植物部門2級、狩猟免許(わな)、救命技能検定上級		○	-		月に16時間	
業 務 委 託 (予 定)	青和施設工業所		空調保守点検			○			
	青梅新興株式会社		污水ポンプ保守点検			○			
	タイズ工業株式会社		污水ポンプ汲み取り			○			
	橋本ビルサービス		定期清掃			○			
	株式会社 東新商会		消防保守点検			○			

指定管理者における担当	雇用形態	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	奥多摩 VC出勤
		月	火	水	木	金	土	日	月・祝	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
センター長・チーフ(責任者) サブチーフ 解説員 解説員 調査員 調査員	常勤	●	●	●	●			●	●		●	●		●	●		●	●	●	●	●			●		●	●	●			●	19
		●	●		●	●	●		●			●					●	●		●	●			●		●	●	●	●		●	18
		●		●		●		●			●		●	●				●	●	●					●				●			13
		●					●						●								●	●		●	●						●	7
												●									●					●						2
												●														●						2
備考		スタッフミーティング																													団体利用	
		4	2	2	2	2	2	2	2	0	2	4	2	2	2	0	2	3	2	3	3	2	2	0	2	2	4	2	2	0	3	61
		一カ月合計																													61	

奥多摩ビジターセンターが目指すビジョンを実現するための人材を配置、技術能力向上の研修に参加し、業務の質を向上させます



奥多摩ビジターセンターの従事経験者あるいはビジターセンター等の関連施設経験者



希少動植物調査を担う特別専門調査員

ビジターセンターの職員には、インタープリテーションやコミュニケーション、安全管理など多岐にわたる技術や能力が必要不可欠です。

年 20 回以上の研修に継続的に参加することで、ビジターセンターの運営上必須の技術や能力を習得・維持・向上させます。

ビジターセンター必須技術

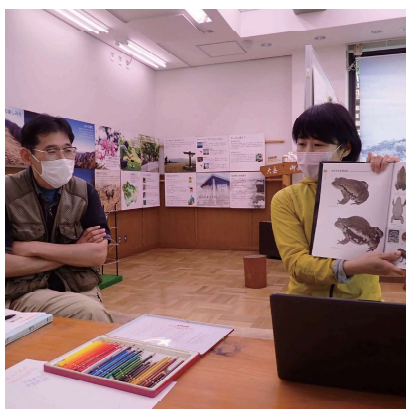
インタープリテーション

コミュニケーション

情報セキュリティ

安全管理

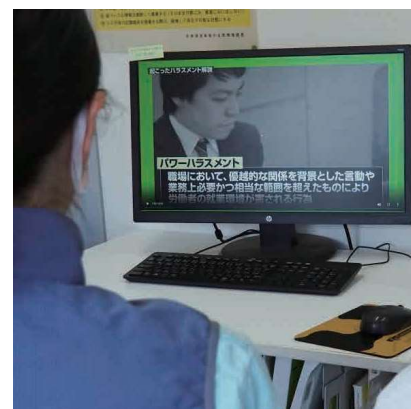
法令順守



プログラム解説の研修



避難訓練の研修



ハラスメントの研修

奥多摩ビジターセンターの5つのミッションに沿い 地域に根ざした事業を展開します。

奥多摩ビジターセンターのインタープリテーション全体計画（運営計画）において、ビジョン達成のために5つのミッションを策定、このミッションに基づき事業を展開します。

ミッション1

利用者ニーズを収集、分析し、安心安全に楽しむための施設・園地管理を行う **P9、15 参照**

東京都及び奥多摩サポートレンジャー会と共に施設管理計画、園地管理計画を策定します。



ミッション2

奥多摩地域（秩父多摩甲斐国立公園）の周辺登山道、歴史文化、地域の自然情報などを利用者へ伝え、親しみ、関心を持ってもらう **P10、19 参照**

ニーズに合わせた様々なテーマの自然教室や講座を開催し、利用者へ自然体験の機会を提供します。



ミッション3

ビジターセンターの認知度・訴求力を向上させ、秩父多摩甲斐国立公園及び自然公園のルールやマナーを普及する **P11、19 参照**

自然の大切さとともに、利用ルールやマナーも普及します。自然公園を楽しむ上で、ビジターセンターの



ミッション4

奥多摩（秩父多摩甲斐国立公園）の資源を保全、活用していくため、自然情報データや資料を収集、整理する **P17 参照**

地域の自然情報データベースとして、動植物、歴史、文化のデータや資料を収集整理し、公開します。



ミッション5

持続可能な地域振興のために、秩父多摩甲斐国立公園及び自然公園に携わる関係者の連携を促す **P12、19 参照**

国立公園の玄関口として魅力発信、認知度向上を図ります。また、奥多摩町や地域の関係団体と連携して、



利用者のニーズを把握し、改善することで、 取組の質の向上や新たなサービス提供を目指します

コロナ禍後、キャンプなどのアウトドア目的の来訪者が増加するなど、来訪者層に変化がみられました。

社会状況などに応じて、今後も来訪者（来館者）は絶えず変わる可能性があります。こうした中でも、様々な方法を用いて利用者のニーズを把握し、改善することで、奥多摩ビジターセンターにおける取組の質の向上や新たなサービス提供を目指します。

また、内容に応じて、自然公園施設や東京都レンジャー、東京都、環境省などに情報共有します。



様々な方法を用いた 利用者ニーズの把握

来館者 アンケート

- ・日本人向け
- ・海外の方向け

自然教室 参加者

団体 アンケート

窓口や電話に 寄せられる声

関係者 ヒアリング

SNS の反応 Google 口コミ

2020 年度 -2024 年度において、把握したニーズを分析し、取組の質の向上や新たなサービス提供につなげた事例を紹介します。

事例紹介

ご意見

友人が外国人なので外国人にも分かりやすいと、もっと嬉しい



2 階の常設展示に
英訳パネルの設置

事例紹介

ご意見

短い時間でも何か体験できるプログラムがあると、もっと楽しめる



30 分程度のプログラムの開発（当日受付）

質の高いサービスの提供を通して、資源の価値を高め 環境保全に向けた行動変容を目指します

奥多摩ビジターセンターのビジョン達成のために、利用者ニーズの把握（II-2-（2））も踏まえながら、効果的且つ効率的な取り組みを展開します。

弊社は、質の高いサービスの提供を通して、来訪者に奥多摩の重要な資源に隠されているストーリーを伝え、資源の価値を高めるとともに、環境保全に向けた行動変容を目指します。

直接的な解説活動

直接的な解説活動は、利用者一人ひとりに対する効果的なアプローチが期待できます。



窓口案内・解説

（日本人や外国の方など多様な利用者）



自然教室



プログラム



間接的な解説活動

間接的な解説活動は、不特定多数に対する効率的なアプローチが期待できます。



印刷物

印刷物
ダウンロード URL



環境教育を目的とした商品販売



展示



SNS（X、Facebook）

Pick Up

環境保全プログラムの試行

地域問題について考えたり、環境保全を体験し行動変容につなげるプログラムを試行します。その結果、保全に寄与する行為が奥多摩地域において一つの体験価値になる好循環を目指します。

実績例）水辺の生き物観察 × リパークリーン



地域団体への自然情報メールの配信

奥多摩ビジターセンターならびに奥多摩地域を含む 秩父多摩甲斐国立公園の周知を行います

デジタル媒体を利用した広報

ホームページ、X、Facebook

地域新聞やチラシといった紙媒体の広報に加え、ホームページ、X、Facebook での情報発信を行います。奥多摩の山や渓谷の自然情報発信を続け、さらなる広報力強化を目指します。また、自然情報の他にも、登山道の通行止め情報などを発信し、安全登山の普及に努めます。

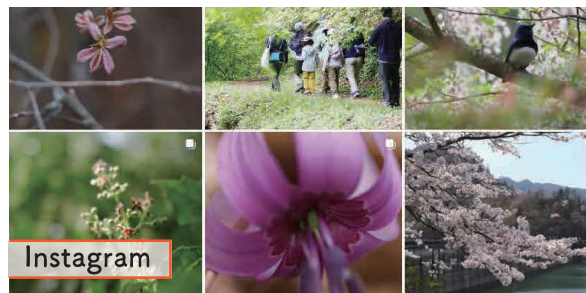


NEW

Instagram 新設

10～20代の若者が多く利用している Instagram に奥多摩ビジターセンターアカウントを新設します。奥多摩に行ってみたくするような地域資源や、ルール・マナーについて発信し、若い世代への普及を目指します。

Instagram は世界的にも利用者が多く、ビジュアルでアプローチすることに特化した特性を持つため、インバウンドへも地域資源の魅力を発信することが期待できます。



東京の自然公園施設が連携した広報

-Feel nature in Tokyo! プロジェクト-

ポータルサイト、Instagram

東京の自然公園施設（高尾ビジターセンター、御岳ビジターセンター、山のふるさと村ビジターセンター）と連携し、ポータルサイトや Instagram を運用します。東京の自然公園の特徴やそれぞれで開催しているイベント情報などが集約され、自然公園利用者が自身のニーズにあった地域や体験を選ぶことができます。



ポータルサイト URL

出張ビジターセンター

昭島市 モリパークアウトドアヴィレッジに「おくたま・たかお自然案内所」を出張し、東京の自然公園の魅力発信、訴求力向上を目指します。



X の投稿リポストによる拡散

共通ハッシュタグ「# ビジターセンターに聞いてみよう」を付けた投稿を他施設がリポストし、様々な利用者へのアプローチを目指します。

Pick Up

国立公園指定 80 周年の広報

2030 年は秩父多摩甲斐国立公園が指定 80 周年を迎えます。ホームページにおいて、特設ページを作成し、国立公園の保護への理解と利用促進を図ります。

「人と自然をつなぐハブ」となり、地域と共に 奥多摩の魅力や価値を広め、自然環境の保全を目指します

近年、奥多摩ではゴミ投棄や山岳事故増加などの問題を抱えています。持続可能なより良い地域を目指すためには、これらの問題に対して地域全体で協働し、問題を解決することが重要です。

観光や教育に携わる奥多摩の地域団体や東京都自然公園施設との地域連携を通じて、ルールやマナー普及を通じた保全、地域振興の推進、安全登山の普及などに取り組めます。



奥多摩町
ふれあい祭り出展



環境省
国立公園イベントの実施



おくたま地域振興財団
ガイド人材の育成



奥多摩サポートレンジャー会
登計園地の協働管理



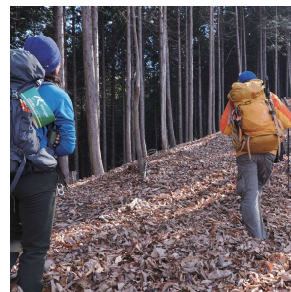
地元教育・観光団体
地元向け自然教室の実施



青梅警察署山岳救助隊
SNS 安全登山の周知
合同巡視



行政や事業者
マナーアップキャンペーン



東京都レンジャー他
合同巡視による情報収集

東京の自然公園施設との連携

高尾ビジターセンター × 御岳ビジターセンター ×
山ふるビジターセンター × 奥多摩ビジターセンター



**ボランティアの新規会員
募集と合同説明会**



**東京の自然公園のポータル
サイト、Instagram**



**東京の自然公園
オリジナル商品の販売**

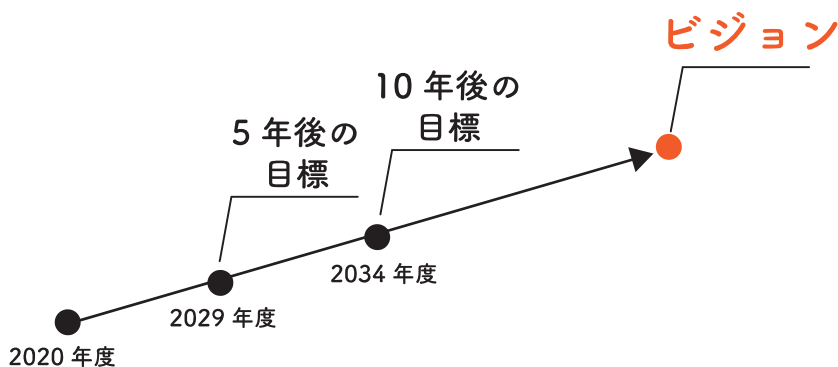
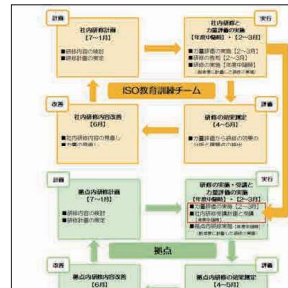
Pick Up 国立公園 オフィシャルパートナー 秩父多摩甲斐国立公園 指定 80 周年記念の事業

弊社と環境省で締結した国立公園パートナーシップにおいて、同国立公園の魅力や利用マナーの普及を目的とした事業（特別講演、オリジナル商品企画、印刷物など）を目指します。

管理運営において多角的な視点で 業務の効率化に取り組みます

ISO14001 の認証取得

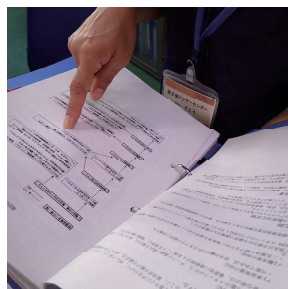
ISO 14001（環境マネジメントシステムに関する国際規格）を施設運営業務に生かし、環境保全と業務効率化を推進します。



前項のインタープリテーション全体計画（運営計画）で述べたように、ビジョンに基づく長期計画を策定します。本計画に基づき、中長期的な視点で施設を運営することで、着実に成果をあげます。

業務のマニュアル化

様々な業務のマニュアルとチェックリストを作成・運用し、質の高い適切な管理を目指します。



人員配置

混雑期や閑散期など、利用状況に合わせた人員配置をします。また、必要に応じて在宅ワークも導入し通勤費や移動時間の無駄を省きます。

DXの推進

地図や季刊誌などの印刷物は、ホームページからダウンロードできるようにしています。自然教室のアンケートにQRコードを導入済みです。また、物販の販売時におけるキャッシュレス決済を継続します。さらに、オンライン会議やクラウドを用いた職員間の情報共有にも取り組んでいます。



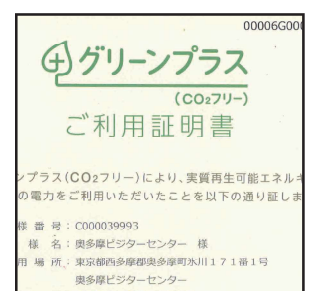
同一業者への再委託

専門業者による点検は、御岳ビジターセンターと同一業者へ依頼しコストを削減します。

- ・空調保守点検
- ・消防保守点検
- ・定期点検
- ・汚水ポンプ保守点検

環境に配慮した電力購入

東武エナジーサポートと電力購入契約を行うことで、二酸化炭素の約30%排出削減及び電気使用量金の削減を目指します。



令和7年度 - 令和11年度

項目		内容	数量	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	※備考
運営業務計画書	環境教育活動業務															
ビジターセンター運営	利用案内、情報提供	計画	一式	↓											↑	
		実施							休館日を除く309日							
		計画	一式	↓											↑	
		実施							休館日を除く309日							
	ニーズ把握、苦情対応	計画	一式	↓											↑	
		実施							休館日を除く309日							
	利用指導、盗掘防止	計画	一式	↓											↑	
		実施							休館日を除く309日							
	情報収集（登山道、遊覧小屋、野生生物、希少種）	計画	一式	↓											↑	
		実施							休館日を除く309日							
	登山計画、装備相談	計画	一式	↓											↑	
		実施							休館日を除く309日							
	プログラム実施	計画	一式	↓					特別イベント 繁忙期に2回以上を予定						↑	
		実施														
	自然教室の実施	計画	一式	↓					年7回程度						↑	
		実施														
	団体対応	計画	一式	↓					休館日を除く309日						↑	
		実施														
	展示制作及びメンテナンス	計画	一式	↓					休館日を除く309日						↑	
		実施														
	ボランティア関連業務	計画	一式	↓					情報共有、イベント広報、応募対応など月1〜2回程度						↑	
		実施														
	ビジターセンター内情報共有	計画	一式	↓					休館日を除く309日						↑	
		実施														
	ホームページ、SNSにおける発信、広報業務	計画	一式	↓					週2回程度						↑	
		実施														
	物販	計画	一式	↓					休館日を除く309日						↑	
		実施														
	広報	計画	一式	↓					イベント募集など適宜						↑	
		実施														
	自然公園拠点間の情報共有など	計画	一式	↓					エリアミーティング 月に1回						↑	
		実施														
	希少種保全	計画	一式	↓					希少種調査 月2回以上						↑	
		実施														

日々の点検と管理に加え、専門業者による点検を通じて、 安心・快適な施設・園地管理を目指します

安心・快適な施設、園地管理を目指します

巡視の際は木材の老朽化、ハチの巣がないか等、あずま屋、吊り橋のチェックを徹底し、荒天の後の迅速な確認を行います。

サポートレンジャーとの協働管理により、共有した自然情報を反映した管理を行い、質を向上させます。また、園地の活用についてのアイデアも取り入れ、イベント、講習会など学習の機会としての活用を目指します。



日々の点検と管理を徹底します



施設を開館日に毎日、点検します。管理地の登計園地等を週に1回程度巡視します。

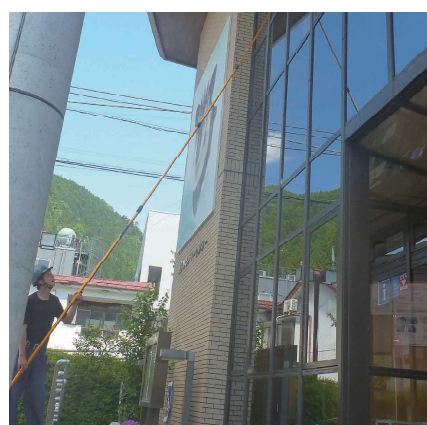
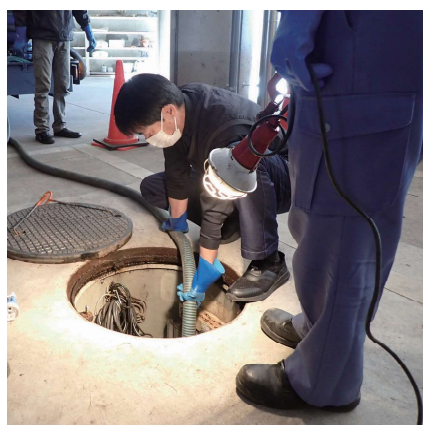
異常を見つけた際には迅速に対応すると共に、東京都や奥多摩サポートレンジャーの会、奥多摩町、奥多摩レンジャーに報告します。

専門業者による点検を実施します

館内清掃、消防、污水ポンプ、空調など専門業者による清掃や保守点検を定期的の実施します。

異常を見つけた際は迅速な対応を図ります。

また、東京都とも相談しながら、故障に繋がり得る要因を未然に防ぎ、施設を快適且つ安定的に保てるような対策を進めていきます。



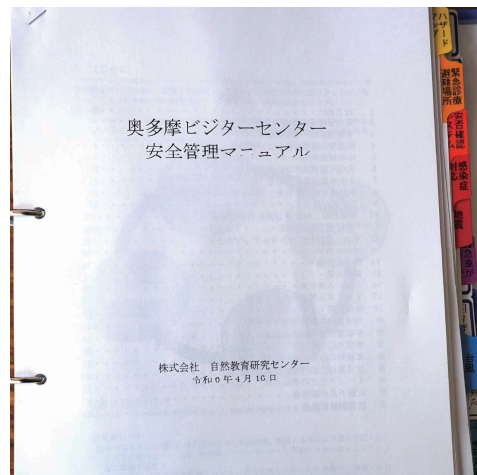
施設および管理園地のリスクを抽出し、リスクの軽減を図るとともに、事故発生時はマニュアルに基づき適切に対応します

安全管理マニュアルの運用

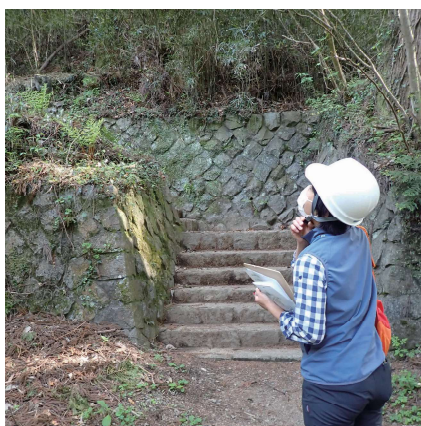
毎年度はじめに安全管理マニュアルを更新・運用し、緊急時の連絡先や、事故別の対応フローチャートなどを記載します。

自然災害に加え、サイバーセキュリティマニュアルの策定、運用を行います。マルウェアの侵入や情報の漏洩が疑われる状況を想定し、緊急連絡先や記録、対応の方法についてなどを記載します。

上記2つのマニュアルは全職員で読み合わせ内容を把握し、有事の際に慌てることなく適切な対応が取れるように備えます。



リスク抽出の実施



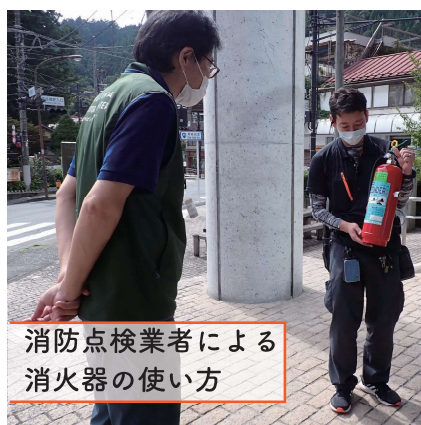
館内および管理園地について、年1回以上の一斉リスク抽出を行います。

また、イベント実施前に必ず使用するフィールドのリスク抽出を行います。緊急度の高いリスクは適宜改善し、事故の予防と対応を行います。

教育訓練の実施

安全管理マニュアルに沿って、各自然災害を想定した避難訓練を年1回以上、季節やイベントなどの状況に応じた事故対応シミュレーションを年2回実施します。

その他にも、安全管理担当者を設置し、社内研修に参加することで個人の事故対応スキル向上を目指します。



地域の自然データベース拠点となり、多種多様な動植物の存在を普及啓発し、その大切さへの気づきを促します

「東京都生物多様性地域戦略（2023 年 東京都）」に基づき、以下の 3 つの取り組みを通じて、奥多摩ビジターセンターが地域の自然データベース拠点として認識されること、そして奥多摩地域に生息する希少種を含めた多種多様な動植物の存在を普及啓発し、その大切さへの気づきを促すことを目指します。



モニタリング調査

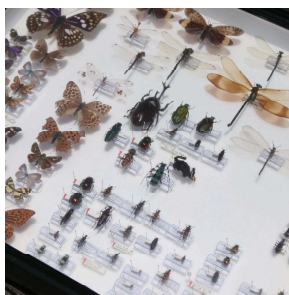
「東京都生物多様性地域戦略」の基本戦略に紐づく 10 の行動方針（行動指針 2、3、4）に該当する取組として、奥多摩周辺の保護上重要な動植物の生育状況のモニタリング調査（情報収集、情報集約・記録保管）を実施します。

調査は大学・植物園や標本館などの研究機関、東京都、東京都レンジャーや環境省自然保護官事務所などの行政機関、NPO や自然保護団体などとも連携して行っています。



データベースの構築

奥多摩の地域資源として剥製等の標本や調査記録を蓄積・保管し、関係機関と共有するためのデータベース構築を目指しています。



NEW

調査結果の公開

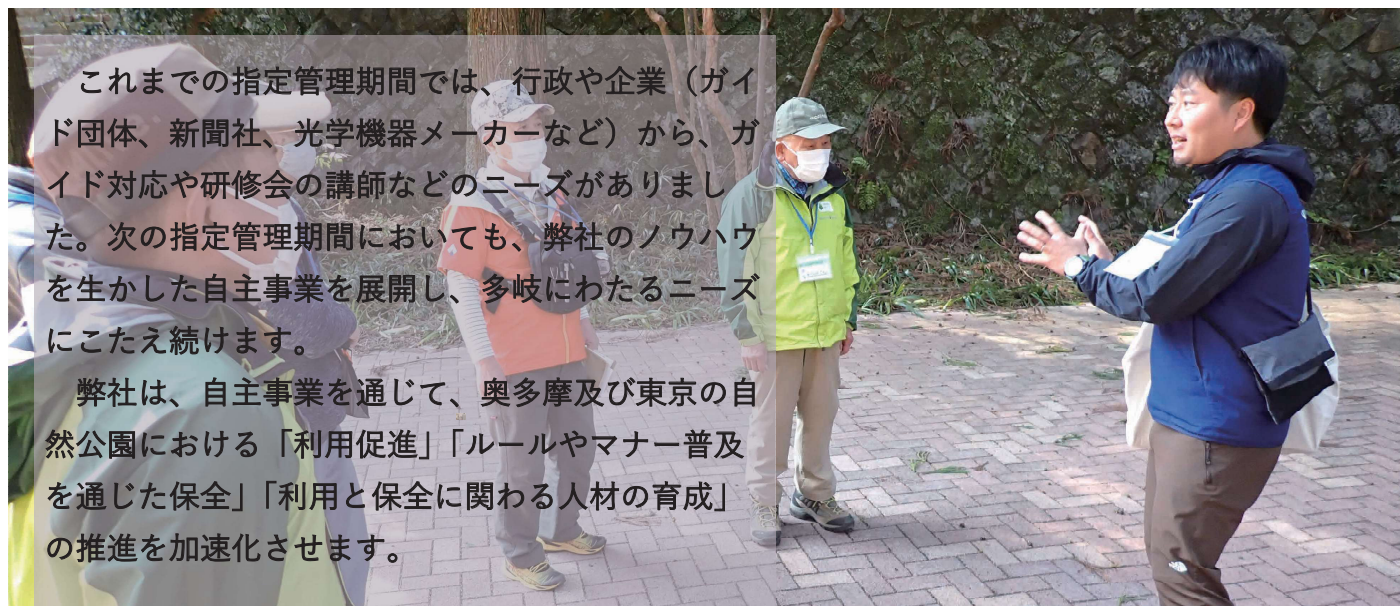
氷川渓谷周辺の定点調査結果をまとめ、館内で閲覧できるようにします。合わせてその電子データ化を図り、大学等の外部研究機関や個人研究者等へもスムーズに提供できる体制を作ります。

また、提供する情報を制限するなどし、希少種の保全リスクも視野に入れて対応します。



項目		内容		数量	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	※備考
施設管理	ビジターセンター	日常管理、清掃、施設（駐車場含む）	計画	444.00 m ²	↓					休館日を除く 309日	↑			↑			
			実施														
		【再委託】定期清掃	計画	年2回		↕						↕					
			実施														
		【再委託】空調設備保守点検	計画	年2回		↕						↕					
			実施														
		【再委託】消防設備保守点検	計画	年2回						↕						↕	
			実施														
		【再委託】浄化槽保守点検（ポンプ層点検）	計画	年3回	↕			↕			↕						
			実施														
		【再委託】浄化槽保守点検（汲み取り）	計画	年1回							↕						
			実施														
		自動ドア日常点検	計画	開館日は毎日	↓				休館日を除く 309日		↑						
			実施														
園地管理	遊計園地	巡視、日常点検など	計画	35,129 m ²	↓				週1回程度		↑						
			実施														
	遊計橋	巡視、日常点検など	計画	25 m ²	↓				週1回程度		↑						
			実施														
	氷川小橋	巡視、日常点検など	計画	49.5 m ²	↓				週1回程度		↑						
			実施														
			計画														
			実施														

奥多摩及び東京の自然公園における利用促進、ルールやマナー普及を通じた保全、利用と保全に関わる人材の育成の推進を加速化するために、継続的な自主事業を展開します



ガイド



研修会の講師



環境省

自然体験プログラム（子ども向け、大人向け）



企業連携（OM ソリューションズ他）

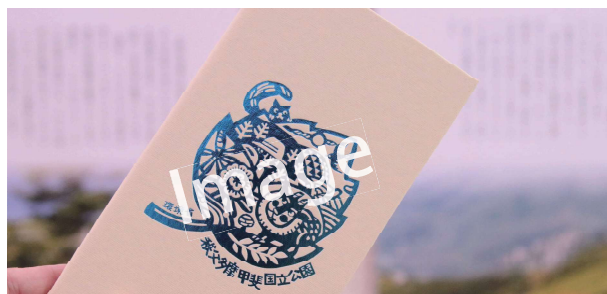
写真撮影 × 自然観察



オーダーガイド



クラフト



秩父多摩甲斐国立公園 普及グッズ

単位：千円

年度	2025年度 令和7年度	2026年度 令和8年度	2027年度 令和9年度	2028年度 令和10年度	2029年度 令和11年度	合計
支出	271,660	271,660	271,660	271,660	271,660	1,358,300

単位：円

年度	2025年度 令和7年度	2026年度 令和8年度	2027年度 令和9年度	2028年度 令和10年度	2029年度 令和11年度	合計
収入	331,400	331,400	331,400	331,400	331,400	1,657,000
支出	209,900	209,900	209,900	209,900	209,900	1,049,500
収支	121,500	121,500	121,500	121,500	121,500	607,500

